



／こんにちは、／ 相模原市議会です

～今年は市制施行 70 周年！～

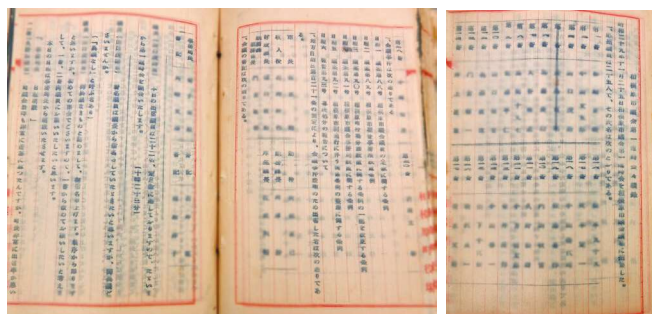


2024年(令和6年)
6月発行

相模原市議会は、昭和29年11月25日に 初めての議会を開催しました。

会議録によると、相模原市議会第1臨時会では、「相模原市議会議員の定数に関する条例」などの議案が審議されました。

(当時の地方自治法の規定では、相模原市議会は定数36に該当していましたが、町分離(昭和23年)により、昭和26年に定数を36から30に減員しており、市制施行の際も同数としました)



当時の会議録(写し)

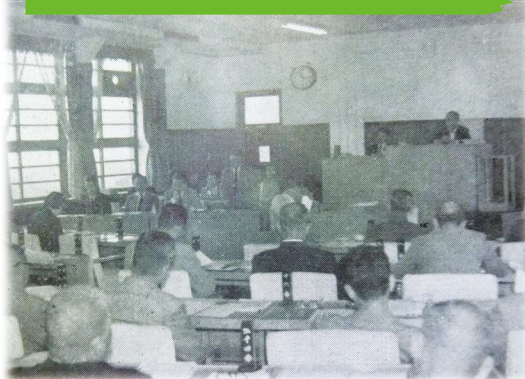
1954年(昭和29年)の市制施行から70年 相模原市議会の「議場」の変遷を振り返ります



相模原市役所庁舎



議場の様子



市勢要覧 昭和31年版
(相模原市立図書館 所蔵)

相模原市は、昭和29年11月20日に「相模原町」から「相模原市」になりました。相模原町役場の庁舎は、昭和16年9月に淵野辺から上溝に移りましたが、固定の議場はなく、様々な場所で町議会を開催していました。そして、市制が施行される少し前の昭和29年4月に、2階建ての町役場庁舎が現在の地(中央2丁目。当時は清兵衛新田)に新たに完成し、その2階に設けられた議場で議会を開催することができるようになりました。

その後いったん、昭和42年に近隣の別の建物に移転しましたが、昭和44年に市役所の新しい庁舎(現在の本庁舎)が完成してからは、途中、耐震補強工事等を行っているものの、現在も当時の議場を使用しています。



昭和42年に移転した建物
(議場等)は、現在も別の用途
で使用されています
(左奥に見えるのが市役所本庁舎)



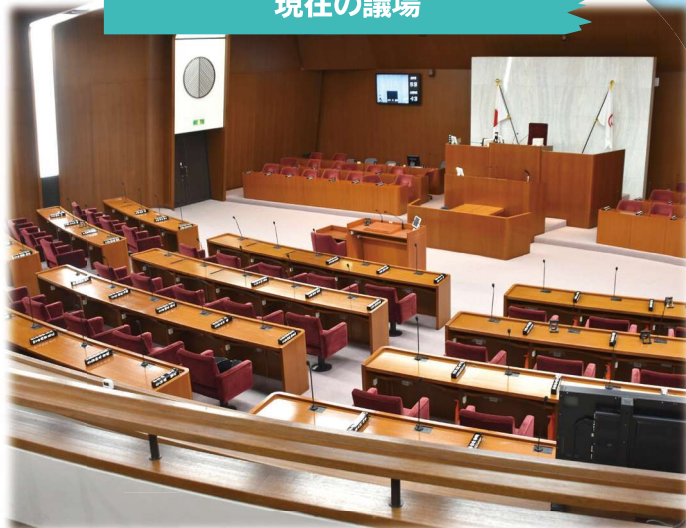
当時の議場の様子

新しい庁舎（議場）になって 初めての議会【昭和44年】



（相模原市議会史記述編Ⅱ355ページ）

現在の議場



昭和44年からこれまでに、座席の増設、大型モニターの設置、市旗・国旗の掲揚などを行っています

昭和44年の時点では、議員席は36席 （1列あたり12席×3列）でした



昭和29年の市制施行以降、議員定数は30でしたが、昭和42年に36にしました

昭和46年に議員定数を36から40にした ことに伴い、議員席も36席から48席 （1列あたり12席×4列）に増設しました



中央部分のみ、4列目に議員4名が着席している様子がわかります

現在の傍聴ロビー



傍聴ロビーは、市役所本庁舎に接続する第2別館の3階にあります

（第2別館が完成したのは
平成11年3月です）

現在の議場内の様々な席

